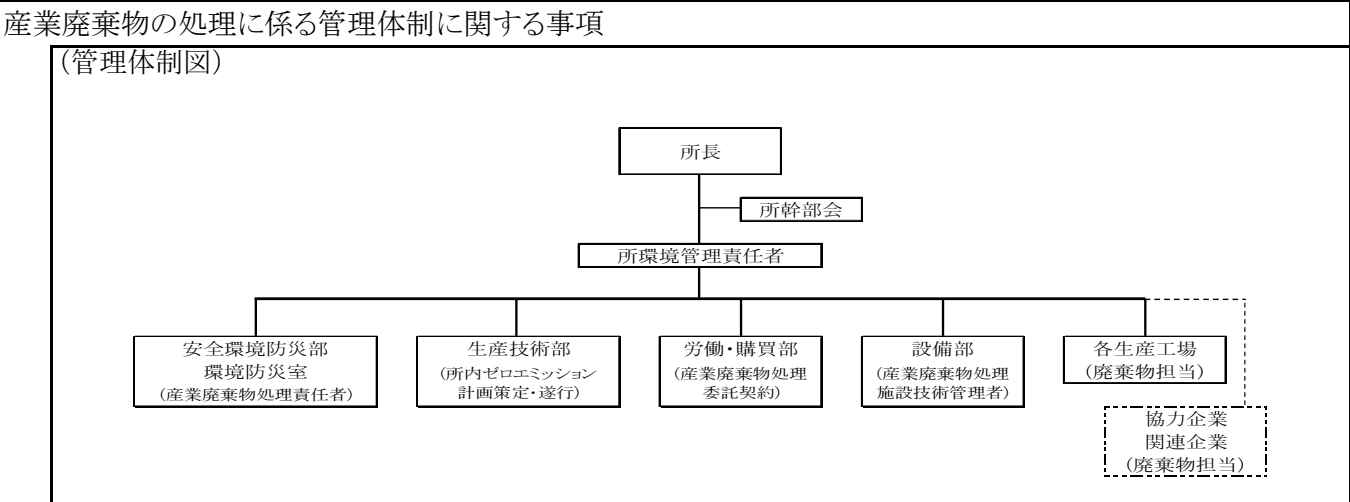


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025 年 6 月 25 日	
(あて先) 姫路市長	
提出者 住 所 〒671-1188 兵庫県姫路市広畑区富士町1番地	
氏 名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名) 日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所	
所長 今居 武士	
電話番号 079-236-1126	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	日本製鉄株式会社 瀬戸内製鉄所 広畑地区
事 業 場 の 所 在 地	兵庫県姫路市広畑区富士町1番地
計 画 期 間	2025年4月1日 から 2026年3月31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	高炉による製鉄業(2211)、発電所(3311)
② 事 業 の 規 模	2975.25億円
③ 従 業 員 数	1610名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(2024 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	別紙②のとおり
	排 出 量	別紙②のとおり t	別紙②のとおり t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙②のとおり		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	別紙②のとおり
	排 出 量	別紙②のとおり t	別紙②のとおり t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙②のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙②のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙②のとおり

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(2024 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	別紙③のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙③のとおり t	別紙③のとおり t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙③のとおり		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	別紙③のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙③のとおり t	別紙③のとおり t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙③のとおり		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(2024 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	135,004 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	129,951 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	主に脱水による中間処理を行っている。		
	主に脱水による中間処理を継続実施。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(2023 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(2023 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	別紙④のとおり
	全処理委託量	別紙④のとおり t	別紙④のとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙④のとおり		

(第5面)

②計画	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	別紙④のとおり
	全処理委託量	別紙④のとおり t	別紙④のとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙④のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙① 産業廃棄物及び副産物の処理工程図

廃棄物の種類	発生工程フロー図
燃え殻 (ボトムアッシュ)	
汚 泥	
廃 油	
廃 酸	
廃アルカリ	
廃プラスチック	
木くず	
金属くず	
ガラス及び 陶磁器くず	
鉾 滓	
ばいじん (フライアッシュ) (電気炉ガス)	
石綿含有	

別紙② 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2024 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	排出量	5,191 t	154,263 t	12,579 t	45 t	309 t	303 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	鉍さい	ばいじん
	排出量	142 t	0 t	210,774 t	8,631 t	100,623 t	109,830 t
	(これまでに実施した取組)						
	所内で外部処理費削減化活動を展開しており、発生抑制に努めている。						
②計画	【目 標】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	排出量	4,931 t	148,425 t	11,950 t	43 t	294 t	288 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	鉍さい	ばいじん
	排出量	135 t	0 t	200,235 t	8,199 t	221,371 t	159,254 t
	(今後実施する予定の取組)						
	所内で外部処理費削減化活動を継続展開しており、発生量の維持抑制に努める。 (廃油ピットへの雨水混入抑制対策)						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物置場に表示された廃棄物の種類ごとの分別保管・処分実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

別紙③ 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(2024 年度)実績】							
産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	鉍さい	ばいじん	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3,404 t	2,322 t	210,598 t	8,466 t	71,034 t	29,432 t	
(これまでに実施した取組) ①現状 自社での資源化利用により、外部委託処理量を減量化 ・中和汚泥 ・金属くず ・ばいじん ・鉍さい							
【目 標】							
産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	鉍さい	ばいじん	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,404 t	2,322 t	210,598 t	8,043 t	71,034 t	29,432 t	
(今後実施する予定の取組) ②計画 自社リサイクル化拡大に継続して取り組む 但し、 ①汚泥については、鉄源構造対策(電気炉化、還元鉄製造設備の縮小)に伴い、従来所内利用していた中和汚泥を産業廃棄物委託処理化に変更したことに自ら再生利用を行う量が2023年度以降減じている。 ②ばいじんについては、2023年度以降、還元鉄製造設備の縮小などに伴い、電気炉ダスト(集塵ダスト)を外部処理としている。 鉄源原料としての利用検討を継続する。							

別紙④-1 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度(2024 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	全処理委託量	1,787 t	16,937 t	12,579 t	45 t	309 t	303 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,787 t	15,751 t	6,529 t	45 t	309 t	254 t
	再生利用業者への処理委託量	1,787 t	16,627 t	10,773 t	44 t	153 t	195 t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	96 t	1,806 t	1 t	156 t	32 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)						
所内で外部処理費削減化活動を展開しており、発生抑制に努めている。 水銀使用製品産業廃棄物の分別保管・処分							
②計画	【目 標】						
	産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	全処理委託量	1,698 t	15,436 t	11,950 t	43 t	294 t	288 t
	優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	再生利用業者への処理委託量	1,698 t	15,436 t	11,950 t	43 t	294 t	288 t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t
	産業廃棄物の種類						
(今後実施する予定の取組)							
所内で外部処理費削減化活動を継続展開しており、発生抑制に努める。 (廃油ピットへの雨水混入抑制対策)							
①汚泥については、鉄源構造対策に伴い、従来所内利用していた中和汚泥を 産業廃棄物委託処理化に変更したことにより、外部委託数量が2023年度以降 増加する。							

別紙④-2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度(2024 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	鉋さい	ばいじん
	全処理委託量	142 t	- t	176 t	165 t	29,589 t	80,397 t
	優良認定処理業者への処理委託量	95 t	- t	160 t	68 t	0 t	50,982 t
	再生利用業者への処理委託量	142 t	- t	154 t	68 t	29,589 t	80,388 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組)						
	別紙④- 1 と同じ						
②計画	【目 標】						
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	鉋さい	ばいじん
	全処理委託量	135 t	- t	167 t	157 t	29,589 t	99,763 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	135 t	- t	167 t	157 t	29,589 t	99,763 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	産業廃棄物の種類						
	(今後実施する予定の取組)						
	別紙④- 1 と同じ ②ばいじんについては、2025年度は電気炉ダスト(集塵ダスト)の外部処理を継続する。						
※事務処理欄							

別添 一覧表 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
実績：前年度（2023年度）実績量
目標：今年度（2024年度）目標量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
燃え殻	5,191	4,931	3,404	3,404	-	-	0	0	-	-	1,787	1,698	1,787	-	1,787	1,698	-	-	-	-
汚泥	154,263	148,425	2,322	2,322	-	-	135,004	145,538	-	-	16,937	15,436	15,751	-	16,627	15,436	96	-	-	-
廃油	12,579	11,950	0	0	-	-	0	0	-	-	12,579	11,950	6,529	-	10,773	11,950	1,806	-	-	-
廃酸	45	43	0	0	-	-	0	0	-	-	45	43	45	-	44	43	1	-	-	-
廃アルカリ	309	294	0	0	-	-	0	0	-	-	309	294	309	-	153	294	156	-	-	-
廃プラスチック	303	288	0	0	-	-	0	0	-	-	303	288	254	-	195	288	32	-	-	-
木くず	142	135	0	0	-	-	0	0	-	-	142	135	95	-	142	135	-	-	-	-
金属くず	210,774	200,235	210,598	210,598	-	-	0	0	-	-	176	167	160	-	154	167	-	-	-	-
ガラスくず及び陶磁器くず	8,631	8,199	8,466	8,043	-	-	0	0	-	-	165	157	68	-	68	157	-	-	-	-
鉱さい	100,623	221,371	71,034	71,034	-	-	0	0	-	-	29,589	29,589	0	-	29,589	29,589	-	-	-	-
ばいじん	109,830	159,254	29,432	29,432	-	-	0	0	-	-	80,397	99,763	50,982	-	80,388	99,763	-	-	-	-
合計	602,690	755,125	325,256	324,833	0	0	135,004	145,538	0	0	142,429	159,520	75,980	0	139,920	159,520	2,091	0	0	0

